

## 第12回教育研究評議会記録

日 時 平成25年3月21日（水）13：30～14：45

場 所 柏原キャンパス事務局棟 大会議室

出席者 長尾、栗林、若井、越桐、成山、野田、横井、石田、高橋、田中、小山、伊藤、入口、鈴木、久田、安部、辻岡、大脇、林（19名）

陪 席 野口監事

傍聴者 乾陽子准教授

開会に先立ち、長尾学長から平成24年度第11回教育研究評議会の記録確認が行われた。引き続き、議事については、議題（2）の後に報告事項（1）を審議し、他については開催通知の順番に進める旨の発言がなされた。また、傍聴申請があった1名に対して議題（1）及び（2）、報告事項（1）以外の傍聴が認められた。

議題（1）平成25年度教員配置について

議題（2）平成25年度教員人事について

長尾学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

報告事項（1）平成25年度教員人事について

長尾学長から資料に基づき報告がなされた。

議題（3）名誉教授の称号授与について

長尾学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

議題（4）経営協議会の学外委員について

長尾学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

議題（5）国立大学強化推進事業について

長尾学長から資料に基づき4大学（北海道教育大学、東京学芸大学、愛知教育大学、大阪教育大学）及び3大学（京都教育大学、奈良教育大学、大阪教育大学）の連携の下で国立大学改革強化推進事業の具体化に取り組む旨の説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

### 【主な質疑】

・選定理由は何かとの質疑に対して、連携がキーワードであることは間違いないが、1大学で採択されているところもあり、不明確であるとの答弁が長尾学長よりなされた。

・京阪奈3大学について、なぜ当番校が持ち回りであるのかとの質疑に対して、個々に微妙な問題があり、持ち回りで担当することとなった。双方向授業については、従来どおり奈良教育大学が担当するとの答弁が長尾学長よりなされた。

・どこへ向かっているのかとの質疑に対して、採択されたことで国民に対して責任を負うこととなった、連携により教員養成の高度化を目指すことが目的であるとの答弁が長尾学長よりなされた。

・リージョナル化という言葉の使い方は誤りであるので、修正していただきたいとの意見に対して、京阪奈三教育大学で統一して使用している文言であり、三大学での検討が必要であるので本学から問題提起はさせていただくとの答弁が長尾学長よりなされた。

議題（6）教職大学院の設置について

長尾学長及び越桐理事から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

### 【主な質疑】

・新学部構想準備室は改革構想検討委員会の元に設置されていたが、教職大学院設置準備室は大学直下に設置するののかとの質疑に対して、そのとおりであるとの答弁が長尾学長よりなされた。

・現職教員のための夜間大学院とのすみ分けやそれぞれのビジョンについて、現行の夜間大学院から看板教員を引き抜かれることを危惧するが、どのように考えているのかとの質疑に対して、十分にシミュレーションしながら多面的に配慮したいとの答弁が長尾学長よりなされた。

・これまで本学は教職大学院を作らない考えであったが、作るという決断を下した理由は何かとの質疑に対して、中教審の答申において様々な問題点が洗い出されてきた。また状況的に現段階で作っておかないと、将来のハンディになる可能性があると考え判断したとの答弁が長尾学長よりなされた。

・中教審での免許法の改正が影響しているのか、また、私学との連携は本学にメリットがあるのかとの質疑に対して、免許法の改正は大きなことであり、大きな流れで修士化はあると思うが、すぐには難しい。私学との連携についても、文科省は地域の教員養成を念頭に置いて、中高の教員養成に大きな影響力を持つ私学と連携することは大きなメリットであるとの答弁が長尾学長よりなされた。

### 議題（7）中期計画の変更及び平成25年度計画（教育研究）について

長尾学長及び若井理事から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

### 【主な質疑】

・附属学校長の専任化について、どのような見通しをもっているのかとの質疑に対して、理想的には専任化が必要であると思うが、大学教員が附属学校長を担っていることのメリットもある一方、専任化すれば財政的な問題もあり、慎重にせざるを得ないという答弁が長尾学長よりなされた。また、成山理事からガバナンス上、そこに張り付いて対応が必要であり、大きな負担をかけているとの答弁がなされ、さらに、長尾学長からバランスが重要であり、なかなか結論は出ないとの答弁がなされた。この答弁に対して、附属学校との連携を推進するための配慮をお願いしたいとの意見がなされた。

### 議題（8）平成23年度の教育活動に関する自己点検・評価報告書について

長尾学長及び野田副学長から資料に基づき、評価疲れに配慮して、今後数年毎に実施し、来年度は改善に努めたい旨の説明が行われ、原案どおり了承された。

### 議題（9）既修得単位等の認定に関する規程の一部改正について

野田副学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

### 報告事項（2）センター長の指名について

長尾学長から資料に基づき報告がなされた。

### 報告事項（3）平成25年度客員教授の称号授与について

長尾学長から資料に基づき報告がなされた。

### 報告事項（4）平成25年度学部入学試験（前期日程）合格者数について

横井副学長から資料に基づき報告がなされた。

### 報告事項（5）平成25年度3月学部卒業生について

### 報告事項（6）平成25年度特別支援教育特別専攻科修了者について

### 報告事項（7）平成25年度3月大学院教育学研究科（修士課程）修了者について

野田副学長から資料に基づき報告がなされた。

報告事項（8）ビクトリア大学（カナダ）との覚書の締結について

報告事項（9）ライプツィヒ大学教育学部（ドイツ）との学術交流に関する協定の締結について  
栗林理事から資料に基づき報告がなされた。

報告事項（10）その他

1）HATO プロジェクトに関する協定書

長尾学長から資料に基づき報告がなされた。

以 上